

矢倉かつお NEWS



矢倉にしかできない仕事がある

元農林水産大臣政務官、参議院議員(埼玉選挙区)



No.16

平成31年1月発行

〔発行元〕

公明党参議院埼玉
選挙区第1総支部

今夏の参院選埼玉選挙区—自民が矢倉かつおを推薦！

自民党は昨年12月20日、夏の第25回参議院議員通常選挙で、埼玉選挙区(改選定数4人)から公明党公認で出馬予定の**矢倉かつお参議院議員の推薦**を発表しました。

このほか選挙区では神奈川(同4人)、愛知(同4人)、兵庫(同3人)、福岡(同3人)の4選挙区4人(現職1人、新人3人)への推薦を決定しました。

公明党の予定候補者5氏は12月21日、自民党本部で安倍晋三自民党総裁(内閣総理大臣)、二階俊博幹事長ら自民党執行部と会い、推薦証を受け取り、安倍総裁は各予定候補者とがっちり握手を交わし、勝利へのエールを送りました。

今年は4月の統一地方選挙(前半と後半)そして7月の参議院選挙と大型選挙が続く、12年(亥年)に1回の大変な環境のもとでの選挙になります。

今後とも埼玉県内を、地域の課題解決と支持者拡大に走り抜いてまいりますので、何とぞ旧に倍するご指導・ご鞭撻を**矢倉かつお**に賜りますようお願い申し上げます。



地域の建設業を支援—適切な工期設定を訴え—国土交通委



矢倉かつお参議院議員は昨年11月27日の参議院国土交通委員会で、地域に根ざした建設業が社会資本整備や災害時の復旧に重要な役割を果たしていることを指摘し、「地域になくてはならない存在である」と力説し、人手不足を解消し、魅力ある建設業にするために、適切な工期の設定や施工時期の標準化によって、週休2日の確保など働き方改革を推進するよう訴えました。

これに対し、石井啓一国土交通大臣(公明党)は、建設工事における適正な工期設定のためのガイドラインを策定し、「民間発注者や建設業団体をはじめ、様々な関係機関に対し周知徹底を図っている。引き続き建設業の働き方改革にしっかり取り組む。」と述べました。

2019年度予算案と2018年度第2次補正予算案が決定 —消費税対策で商品券を発行、住宅購入支援、幼児教育・保育を無償化へ、防災・減災、国土強靱化対策を集中実施など—

1. 消費税率引き上げ対策で需要を平準化

✚ キャッシュレス決済時のポイント還元(2,798億円)

→2019年10月~2020年6月までの9ヶ月間、中小小売業等においてキャッシュレス決済を行った場合、最大で5%のポイント還元があります。



✚ 低所得・子育て世帯向け「プレミアム付き商品券」の発行(1,723億円)

→低所得者(生活保護受給者を除く)および0~2歳児の子育て世帯に対して、2019年10月から半年間使用できるプレミアム付き商品券を発行・販売します。



✚ 住宅購入者などへの支援強化(2019年10月~)

・住宅ローン減税の効果が限定的な所得層対象の「住まい給付金」の延長、拡充。対象所得層を拡大し、給付額を最大30万円から50万円に引き上げます。(785億円)



・「次世代住宅ポイント制度」の実施。一定の省エネ性、耐震性、バリアフリー性能を満たす住宅や家事・介護負担軽減に資する住宅の新築やリフォームに対して、一定期間に限ってポイントを付与します。

→新築で基本的に30万円のポイント付与(1,300億円)

II. 全世代型社会保障に向け消費税増収分を活用



✦ 幼児教育・保育の無償化(2019年10月~) (3,882億円)

→すべての3~5歳児、住民税非課税世帯の0~2歳児を対象に、幼稚園・保育所・認定こども園の費用を無償化します。

✦ 介護人材の処遇改善(2019年10月~) (213億円)

→勤続年数10年以上の介護福祉士について、月額平均8万円相当の処遇改善を行います。



✦ 年金生活者支援給付金の支給(2019年10月~)

(1,859億円) →※基準額年6万円(月額5千円)を支給します。

✦ 低所得高齢者の介護保険料の負担軽減強化(原則2019年10月~) (327億円)

III. 防災・減災、国土強靱化対策を集中実施

✦ 2018年度第2次補正予算と合わせて国費2.4兆円を投入



→重要インフラの緊急点検の結果等を踏まえた「**防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策**」に基づいて、緊急対策160項目について、2018年度からの3年間で集中的に実施します。2020年度までの3年間の事業規模は概ね**7兆円程度**になります。

《具体的な取組》河川、砂防、道路、ため池、治山施設、森林、漁港の防災・減災対策／学校施設等の防災・減災対策／水道施設の耐震化対策／災害拠点病院等における耐震化対策／電力や地震津波観測網等のインフラ緊急対策／製油所・油槽所の緊急対策など

防災・減災を政治の主流に一矢倉かつお議員

一石井国土交通大臣と利根川の堤防強化事業を視察

矢倉かつお参議院議員は12月15日、石井啓一国土交通大臣に同行し、利根川の治水対策を強化するために国土交通省が進めている首都圏氾濫区域堤防強化対策事業を視察しました。利根川の堤防が決壊した場合、その氾濫流域は埼玉県内にとどまらず東京都まで達し、広範囲に壊滅的な被害を及ぼす恐れがあります。



視察では、同事業の進捗状況について説明を受けるとともに、昭和22年のカスリーン台風の際に利根川の堤防が決壊した箇所も訪問。堤防決壊や地震などの緊急時に災害復旧活動の拠点として同地に整備された大利根河川防災ステーションを視察し、矢倉議員は、「国では『防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策』が実施される。地元の皆さんと連携し、事業を加速化してまいりたい」と、防災・減災に取り組む決意を新たにしました。

『現場を走り、世界に挑む』を発売

矢倉かつお参議院議員は11月17日、自身2冊目となる著作『現場を走り、世界に挑む』（潮出版社刊・税込み800円）を刊行しました。初当選から5年間、矢倉議員がどのように政治に向き合い、目の前の課題に取り組み、それを解決していったかを綴った国会議員としての活動の記録です。合わせて、作家であり元外務省主任分析官の佐藤優氏との特別対談『大衆とともに』公明党への期待を語るも収録しております。

11月28日にはさいたま市内で、潮出版社主催で『現場を走り、世界に挑む』の出版記念パーティーを開催しましたところ、多くの方々にお集りいただき、矢倉かつお参議院議員に熱烈な期待を寄せていただきました。

***ご注文については下記までお問合せ下さい。**



矢倉かつお公式ホームページ
<http://www.yakura-katsuo.jp/>



矢倉かつお

検索



LINE 友達
登録募集中！



メルマガ会員
登録募集中！



〒100-8962 参議院議員 矢倉克夫事務所
東京都千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 401 号室
Tel.03-6550-0401 Fax.03-6551-0401